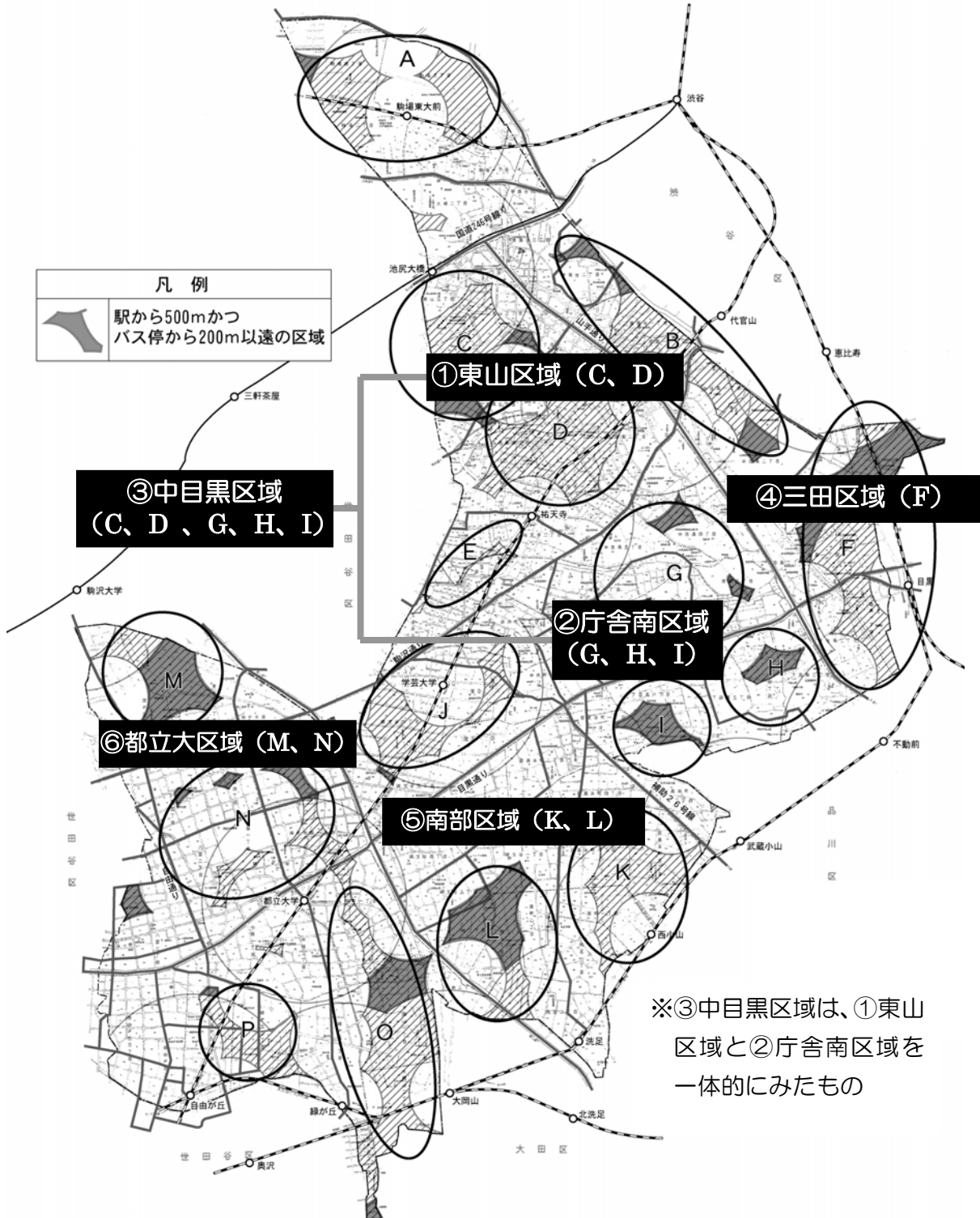


## 4. コミュニティバス試案路線の検討

### (1) コミュニティバス運行候補区域の抽出

- ・ 駅から500mかつバス停から200m以遠の区域、人口密度の高い区域、高齢化率の高い区域、高低差の大きい区域などから、下図のとおり6区域を抽出した。

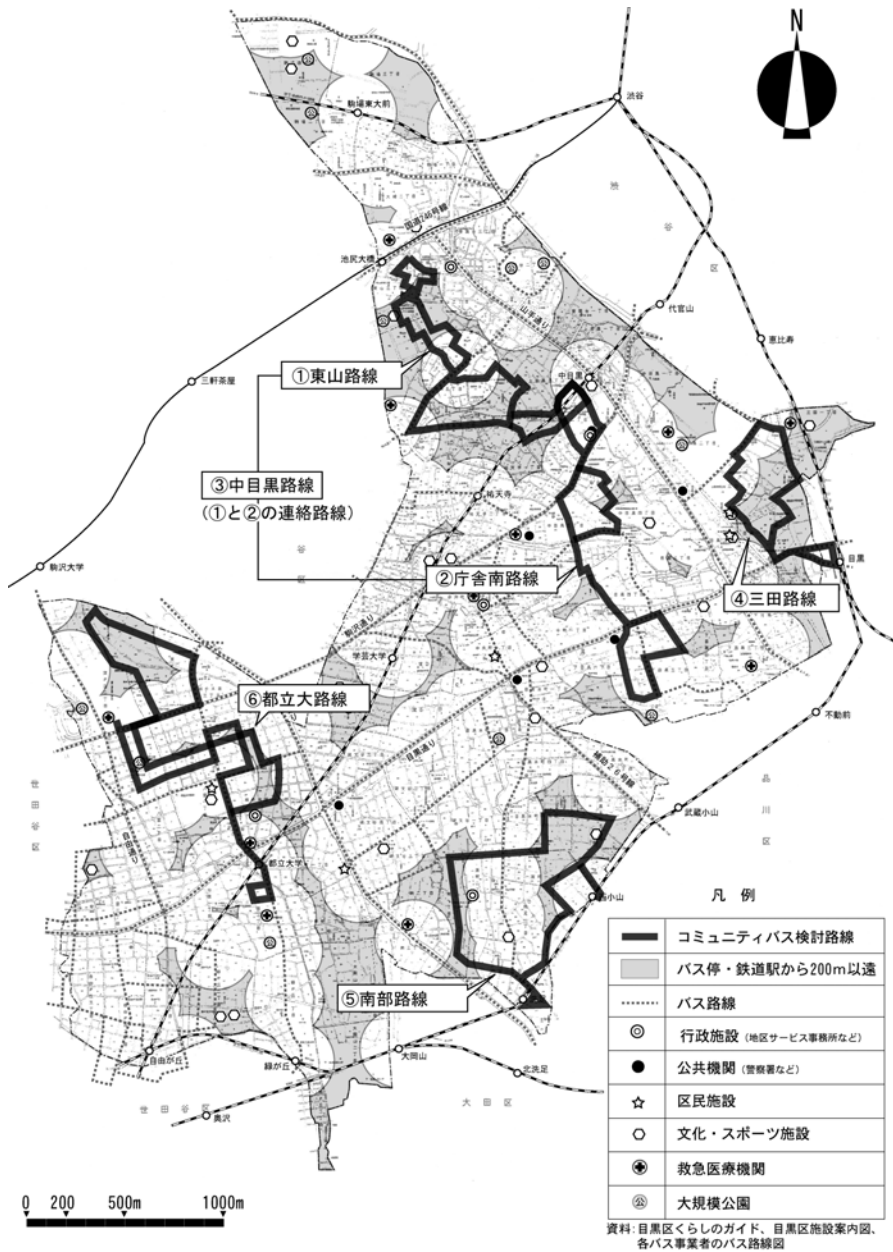
図 コミュニティバス運行候補区域の抽出（6つの区域を抽出）



## (2) 検討路線の選定

- ・(1) で抽出された区域毎に、事業性検討のための路線を設定する（下図参照）。

図 コミュニティバスの検討路線（全部で6路線）

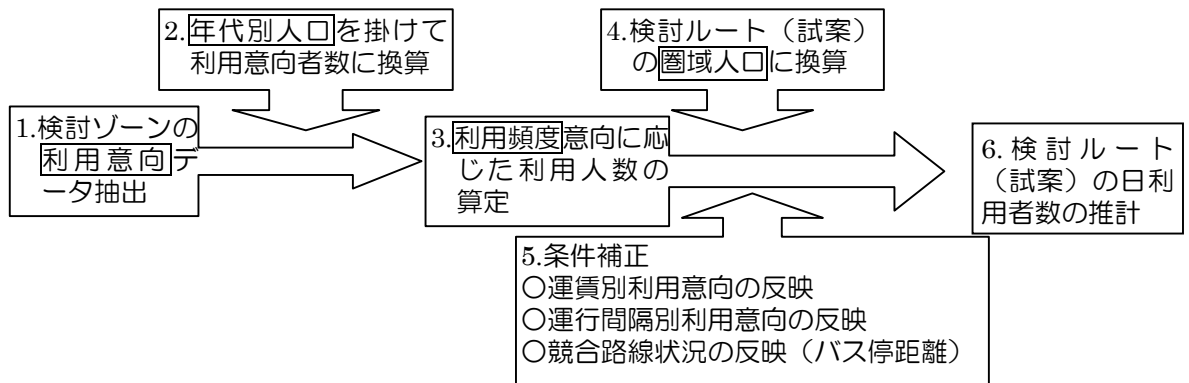


### (3) 検討路線の採算性検討

#### ■試算方法

- ・アンケート調査結果より下図フローにより利用者数を推計して採算性を検討する。
- ・推計の前提条件となる運行条件及び支出条件は、既往調査において黒字が想定された条件（20分間隔・運賃150円等）に準拠する。

図 アンケート調査に基づく検討路線の日利用者数の推計フロー



#### ■東山路線の試算結果

- ・事業性の確保が期待された東山路線は、採算割れ（約120万円/年）が発生すると推計された。
- ・したがって、初期投資や維持経費をまかなうことが困難と想定される。

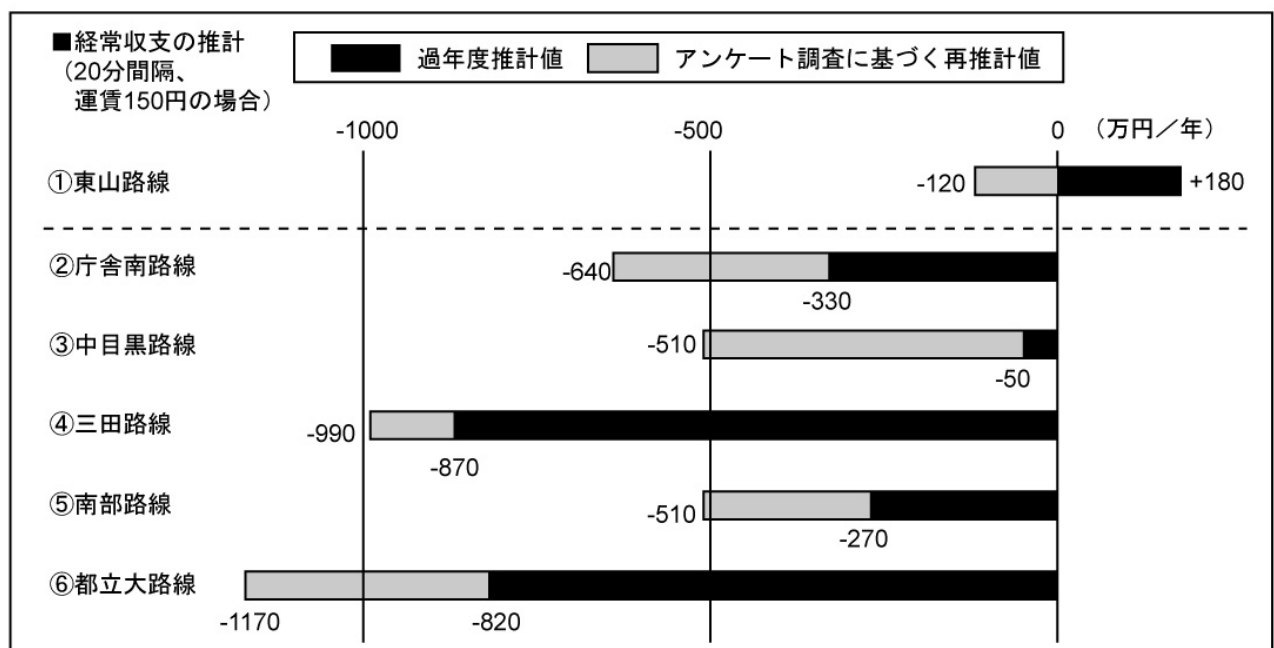
表 東山路線の採算性  
（20分間隔・150円の場合）

|                |       |
|----------------|-------|
| 過年度想定利用人員(人/日) | 581   |
| 意向による試算人員(人/日) | 526   |
| 試算人員/過年度想定人員   | 0.91  |
| 支出(万円/年)       | 3,000 |
| 収入(万円/年)       | 2,880 |
| 収支状況(万円/年)     | △120  |

#### ■他の路線の試算結果

- ・他の路線も採算割れ（約500～1200万円/年）が発生すると推計され、初期投資や維持経費をまかなうことが困難と想定される。

図 その他路線の採算性（20分間隔・150円の場合）



注：③中目黒路線は、①東山路線・②庁舎南路線を一体的に運行する路線